

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

3月定例会

3月13日(木)午後6:00より、川崎商工会議所会議室5にて、会員15名、オブザーバー1名、見学者2名の参加を得て開催した。パレール商店会 肥沼孝政会長と塩島健人氏、和光大学小林猛久ゼミ 学生12名を招き、「産学連携の実践報告 和光大学小林猛久ゼミによるパレール商店会のイベント支援」をテーマに講演はすすめられた。

学生から具体的な活動内容の報告と今後の方向性が示された後、肥沼会長と塩島氏より商店会としての意見が述べられた。そして最後に、質疑応答がなされた。その後、同所会議室6に場所を移して懇親会を行い、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めた。



3月分科会

3月5日(水)午後6:30より、高津市民館会議室にて、会員7名、見学者9名の参加を得て開催した。日新瓦斯株式会社 河野康弘営業部販売グループ長と株式会社スズヨシ 北嶋等氏を招き、「社業紹介とエネルギー業界の現状など」をテーマに講演は進められた。東日本大震災後、日本のエネルギー政策が大きな問題となっており、身近なエネルギーであるガスの賢い利用方法や緊急事態の対応を学ぶ機会となった。特に、都市ガスとプロパンガス、電気と石油エネルギーの比較をとおして、メリットを最大限に活かす必要性を感じた。ニュースで話題のシェールガスの一般普及は、まだ先とのことである。日常生活では、費用のみならず安全かつクリーンなエネルギーの利用を心がけねばならないと実感した。



加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191